

地域教育
情報紙 (30年度)
第5号

風と花と

平成31年1月7日発行
《担当》 富士・東部教育事務所
地域教育支援スタッフ
小林 智・上田 司・長田 茂

『風と花と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

まちづくりは人づくり、地域の子どもは地域で育てる !!

地域教育 明日の風 第2回理事会

北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）は、平成30年11月26日（月）に北都留教育会館において「平成30年度第2回理事会・事務局・事業推進委員会議」を開催しました。

会議では、まず今年度の事業と会計の中間報告が事業推進委員長及び事務局長より報告されました。事業の中間報告では、「明日の風 総会・教育講演会」「伊藤知治教士八段剣道教室」「アスリート実技講習会」等、これまでの取り組みの具体的な内容、アンケートの調査結果、反省点および来年度への課題等についての説明がありました。その中で、「各事業の中で、小中学生と高校大学生等が交流することでお互い成長につながっている。」との報告もありました。

会計の中間報告では、これまでの会計執行状況の説明がありました。また、平成31年度法令外負担金の申請について事務局より提案があり、提案どおり承認されました。参加者からは、子どもの数が減っている中で事業のあり方や、協議会の事業を地域の活動にどうつなげていくか、そのための方法に関する意見が出されました。

次に、平成31年度の定期総会等の日程については、例年どおり理事会を6月中・下旬に、総会は7月上・中旬の開催を軸に今後調整することとなりました。最後に、平成30年度の今後の予定についての確認がされ、「平成30年度第2回理事会・事務局・事業推進委員会議」は終了しました。



子育て支援リーダー実力アップ講座が終了

地域での子育てや家庭教育の支援活動を
積極的に推進できる人材の養成 !!



山梨県では、県立大学との協働により地域の子育て支援者のネットワークづくりのための「子育て支援リーダー実力アップ講座」を6月22日（金）から合計10回開講しました。受講者は、家庭教育・子育てにおける喫緊の課題についての講義と実技演習など、毎回各々のテーマについて知識を深め、実力アップを図ってきました。

最終回となった11月2日（金）のグループ自主研究発表会では、「ママの本音を聞いてみよう」や富士東部地区の受講者による「親子体操」「子育てにおける身近な高齢者の役割」など、グループごとに取り組んできた研究の成果や今後の課題を発表しました。いずれの発表も大変興味深く、それぞれの視点で子育て支援について研究されていました。

発表会後に行われた閉講式では、23人の受講者に修了証が手渡されました。最後に、講師の先生方からは、支援リーダーとして、『講座で築き上げた人とのつながり・ネットワークを活かしていく』『学び続ける姿勢を持ち続ける』『行政や県立大学とのつながりも活用する』などのアドバイスをいただき、すべての日程が終了しました。

今回受講された皆様にはそれぞれの地域や職場等において、「子育て支援リーダー」としてますます活躍されることを期待します。



南都留地区社教委連・公連 秋季合同研修会

南都留地区社会教育委員連絡協議会・南都留地区公民館連絡協議会は、11月8日（木）に富士河口湖町中央公民館において、秋季合同研修会を開催しました。

講師に、大月市立図書館長で絵本作家でもあります仁科幸子氏をお招きし、「運命の本と出会う場に」と題して講演していただきました。最初に、どのようにして児童書の世界に入るようになったのか、そして「ひろすけ童話賞」を受賞したことや絵童話が読書感想画中央コンクール低学年課題図書になったことなどを話されました。

また、仁科氏は2015年に大月市立図書館長に就任し、2018年には子どもの読書推進で文部科学大臣表彰を受けました。図書館が暮らしに彩りを与える場に、生活の一部になってもらえるようにと、これまで取り組まれてきたことを紹介されました。掲示物を手作りしたり、刺激となる情報ボード、館内に緑の植物を置いたりしたこと。また、図書館キャラクター「ツキッピー」を誕生させたり、一冊の本をテーマにお茶を飲みながら語り合う「アリスのティーブック」を行ったりしてきたことなど。出席者からは「本離れが進む中、先生の持つ技術と情熱と努力で、温かいすてきな図書館ができたことはすばらしい。」「今度、ぜひ図書館に足を運びたい。」などの感想が寄せられた。読書の大切さ・楽しさ、そして図書館の役割などを改めて考える機会となりました。

第17回 花の里 北都留 !!

一人一花運動 フォトライブラリー展

みんなで、花いっぱい北都留に !!

「家庭で、学校で、地域で花を育て、花いっぱいの北都留にしましょう。花を育て、子どもたちの豊かな心を育てていきましょう。そして次代を担う子どもたちが健やかに成長するように豊かな心を育みましょう。」

北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）では、子どもたちが未来に向かって「夢」や「希望」を持ちながら生きていくことが出来るように、地域の教育力向上を意図する「地域教育 明日の風」の活動の一環として「一人一花運動」を進めてきました。4月に北都留地区の全ての幼・保・小・中・高・支・大および主な構成団体と、小学3年生、保育所（園）・幼稚園の年長児全員に花の種約2,000袋を配付して、花が咲き、潤いのある環境づくりに取り組んできました。

配付された花の種は、各地でところを込めて育てられ、今年も多くのきれいな花を咲かせました。その様子を収めた写真展『フォトライブラリー展』が、平成30年11月8日（木）から12月14日（金）まで、北都留教育会館で開催されました。



テーマ「ハッピー&エンジョイ~うれしく、たのしく、83人の最高の絆~」 やまびこ支援学校 「やまびこまつり」

やまびこ支援学校（藤川健校長）では、11月17日（土）に第40回「やまびこまつり」を開催しました。テーマどおり笑顔いっぱい、83人の絆が深まった行事となりました。

午前中は『うたとげきの会』が行われ、小学部・中学部・高等部それぞれが日頃の学習の成果を発表しました。児童生徒の堂々とした演技や心のこもった合唱に、保護者をはじめ多くの方から大きな拍手をいただくことができ、達成感を味わうことができました。

午後は、高等部の生徒が取り組んでいる5つの作業班（木工、陶芸、手工芸、農園、サービス）による『作業販売会』と、PTA主催のバザー『エコやまびこ市』が開催されました。“作業学習”の授業の中で丹精込めて作ってきた商品を、多くの方に購入していただきました。2020年に桂台へ移転するため、本校舎での現行形式の学園祭は、今年で最後です。多くの人に見ていただきました。



Dream Come True 「夢の実現」 第18回 小林雅英 野球教室



北都留地域教育推進連絡協議会（会長：石井由己雄大月市長）では、平成30年12月8日（土）に大月市営野球場において、大月市真木出身、元大リーガーの小林雅英氏による野球教室を開催しました。今年で18回目となる同教室には、大月市・上野原市のスポーツ少年団の児童や中学校の野球部の生徒、指導者など約190名が参加しました。

午前中は、各年代別に3つのグループに分かれてキャッチボールやバッティングを行ったり、小林氏のノックを受けたりしました。練習の途中には小林氏のサイン入りグッズがプレゼントされました。お昼には、各チームのコーチ・顧問との懇談会も和やかな雰囲気の中で開催されました。

午後からは各チームのピッチャーを対象に指導が行われ、選手達の投球フォームの一つ一つを細かくチェックし、丁寧に個別指導をして頂きました。小林氏からは「今日の事を野球ノートや日記にしっかりつけておきましょう。文字に残しておくといいです。皆さんが、今日聞いた事を1年後の次回の時に必ず持ってきてください。」と参加した選手達にお話がありました。参加した選手からは、「将来、小林雅英さんようになって活躍したい。今後の野球生活に、教えてもらったことを活かしてプレーをしたい。」などの感想が寄せられました。とても充実した一日となりました。

地域の青少年支援を目指すネットワークづくり!! 南北都留教育相談ネットワーク会議



南都留教育相談ネットワーク会議は、「青少年の育成にかかわる、教師やカウンセラー、児童相談所・教育相談所の職員等が、それぞれの経験や専門性を生かしながら情報や技術を共有し合い、連携して学習会や相談活動・情報提供・研究活動を行い、公正中立な立場でのより効果的な地域の青少年支援」を目指し、平成13年度に設立されました。参加団体が南北都留となっていることから昨年度より南北都留教育相談ネットワーク会議（会長：堀内悦朗都留児童相談所所長）となりました。

今年度は、7月4日（水）に第1回の会議を南都留合同庁舎大会議室において開催し、活動計画等について話し合いました。その後、上野原市教育委員会社会教育課からの実践発表をもとに、研究協議が行われ、活発な意見交換や情報交換がなされました。

第2回は、12月5日（水）に開催。今回は、富士・東部保健福祉事務所と、大月市教育委員会支援室からの実践発表をもとに、研究協議が行われました。富士・東部保健福祉事務所の実践発表では、保健福祉事務所の業務説明に続いて、出前授業やSSW（スクールソーシャルワーカー）を通しての教育相談など、教育との連携についての話がありました。大月市教育委員会支援室からは、主な事業内容の説明の後に、市の保健師、幼稚園、保育園（所）と連携し就学児、保護者に寄り添った支援をしていくことの大切さが話されました。本会議を通して、教育と福祉とのいっそうの連携・協力を確認することができました。第3回は2月6日（水）に開催の予定です。

地域の実態にあった中・高の効果的な連携を探る !!

生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議



南都留地域推進連絡協議会(会長：白井明彦東桂小学校長)では、旧都留学区の都留市・西桂町の実態にあった中学教育と高校教育の効果的な連携を探るとともに、一層の理解と推進を図り具体的な取り組みを検討することを目的に、平成13年度から「生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議」を開催しています。同会議では「各学校の情報交換、現在抱えている問題点や取り組み等の報告」と、「将来的なビジョンの検討、人的交流の推進、相互理解と相互連携協力事業の開拓」について話し合われます。

今年度は、5月29日(火)に都留興譲館高校にて各学校の校長による第1回の会議を開催しました。会議では、各学校の現状・課題・取り組み、及び意見交換が行われ、授業や部活動の連携事業について活発な意見交換がなされ、「学びの連続」「授業力向上(改善)」を目的に、お互いに授業参観を積極的に行っていくことが確認されました。

11月30日(金)には第2回を開催。前回までの会議報告に基づき、各学校の取り組みや現状と課題について報告がされました。

各学校の学力向上の取り組みやスマホの使用による問題への対応等、さらに少子化に伴う生徒への対応などが話題として取り上げられました。最後に今後も地域の実態にあった中高の連携をはかることが確認されました。



少ない薪でも火力が強い調理器具を作ろう !!

シオジ森の学校 ロケットストーブ作り&ランチ



シオジ森の学校(下澤直幸校長)は、水下ベニア商会作業場で11月17日(土)・18日(日)の両日、「ロケットストーブ作り&ランチ」を開催しました。2日間で7組の家族とスタッフあわせて22名が参加しました。

「ロケットストーブ」は燃焼効率が極めて高く、少ない薪でも火力が強く、しかも手軽で安全な調理器具であるため、非常時にも役立つと言われていています。「ロケットストーブ」という名前は、熱を送りだす部分がロケットの噴射口に似ているところからついたそうです。そのすぐれた熱効率から、「エコストーブ」の名前でも呼ばれています。

講座は、初めにスタッフからの説明があり、その後、工具を使っての作業となりました。初めての経験に少々戸惑いがありましたが、どの家族も協力し合いながら、それぞれのペースでロケットストーブを作製しました。親子での「ものづくり」の楽しさも体験していました。午前中にはほとんどの家族が完成し、昼食はロケットストーブで炊いたご飯を全員で食べながら、和やかな雰囲気の中で午前中の作業や「シオジの森の学校」の講座について話がはずみました。参加者同士の貴重な交流の場となりました。参加者は、「帰ったら、早速、ロケットストーブを使ってみよう。」「昨年からの講座を楽しみにしていました。」などと話していました。



日々の学習成果を発表 !!

上野原高等学校 第8回総合学科発表会



県立上野原高等学校(小川弘一校長)では、生徒一人一人のキャリア教育に対応した「ドリカム=システム」を実践しています。同校総合学科の特色は、6つのプラン制を採用し、生徒一人一人が描く多様な夢の実現をサポートする点にあり、生徒は様々な体験を通して、自らの夢を見つけ、育み、実現を目指しています。

12月15日(土)に今年度の取り組みを発表する第8回総合学科発表会が教育関係者、地元や近隣の中学生、保護者、同校生徒らが出席して、体育館や武道場で開催されました。発表会では、

学習の成果がわかりやすく表現され、プレゼンテーションの方法も創意工夫されていました。また、今年度のポスターセッションは、3年次生全員による課題研究の成果発表がありました。参加者は各発表に熱心に聞き入り、意見交換を活発に行っていました。当日の発表内容は次のとおりです。

【総合学科の紹介】

【発表Ⅰ】1年次：「ドリームスピーチ」

将来の夢を見つけるために、「職業人講話」「職場見学」「大学訪問」「適性検査」等を行い、見つけた夢を発表

【発表Ⅱ】2年次：「課題学習」

「修学旅行で出会った仕事」「1.17の復興とスポーツの影響力」

【発表Ⅲ】授業発表：「福祉」 ～パラリンピック・授業を通して学んだこと～

【ビデオメッセージ】 夢を追い続ける総合学科卒業生1～4期生からのメッセージ

【ポスターセッション】 3年次生全員による課題研究の成果発表

【発表Ⅳ】3年次：「課題研究」

「なんで? どうして? オーストラリアに行く理由」

「感染症 ～私たちに迫りくる病～」 「私たちの考えた未来の上野原 ～駅前開発より～」



地域連携 公開講座

大月短期大学 『ポリティカル・エコノミー研究会』



大月短期大学(柳沢幸治学長)は、昨年の11月29日(水)から今年12月19日(水)まで「ポリティカル・エコノミー研究会」を全7回で開催しています。ポリティカル・エコノミー研究会は、大学の先生方が研究している様々なテーマを学生と地域の方に公開し、自分の住んでいる地域だけでなく、様々な問題を国際的視野に立って考え、理解を深め、再び地域について考えていきます。研究と教育が一体となることを目的としています。

第6回の11月21日(水)は、シリーズ「ライフ・スタイルについて考える」その5「沖縄問題」を捉える視座～歴史、軍事基地、地域経済から考える～をテーマに、明治学院大学国際平和研究所・助手 秋山道宏氏が報告者、また佐藤克春准教授が司会・コメンテーターを担当しました。沖縄問題の歴史や地域経済の視点等、様々なデータに基づく説得力のあるお話しに聴講者は熱心に聞き入り、メモを取る姿が多く見られました。報告後に聴講者との意見交換が活発に行われ中身の濃い講座となりました。

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841